

## 日本の食文化を世界に 多言語対応提案に向けて 「QRトランスレーター」のサービスを開始

「食と農」の分野で独自のソリューション開発を目指す広告会社の株式会社協同宣伝（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：滝沢平）では、食のグローバル化に伴う多言語化ニーズに応えるためにQRコード<sup>（注1）</sup>を使った多言語化ツール「QRトランスレーター」<sup>（注2）</sup>のサービスを開始します。

「QRトランスレーター」は、株式会社PIJIN（東京都中央区／代表取締役 高岡 謙二）が開発した特許技術<sup>（注3）</sup>で、QRコードをスマートフォンやタブレットなどの携帯端末で読み取ると、簡単に読みたい言語で情報を得ることができます。

日本の「食」の生産、加工、流通、消費にはそれぞれに魅力的な日本の「文化」が宿っています。日本の「食」が、海外でも、訪日する外国人にも、ますます関心が高まる中、株式会社協同宣伝では、これら食材、加工品、料理に息づく「文化」をグローバルな理解に繋げたいと考える生産者団体や流通業界、飲食業界のニーズに応えてゆくために「QRトランスレーター」の技術を活用した提案を進めてまいります。

株式会社協同宣伝は、6月17日 株式会社PIJINと販売代理店契約を結び、同社との提携関係のもと、「食と農」分野で以下のようなソリューションを開発してゆきたいと考えています。

- 原材料や保存方法、消費期限など基礎的な情報を正確に伝える
- 「文化」を背景にした意匠や商品名を変えずに、海外に向けてその意味や情報を伝える
- 外国人に知ってもらいたい情報、例えば、使い方や料理法、食べ合わせなどを付加して伝える
- 閲覧されている言語、場所、日時などからマーケティングデータを抽出する

※一定規模以上の利用の場合

さらに今後の課題として

- 閲覧される言語圏の食文化に合わせたコンテンツの制作
- SNSと組み合わせて、グローバルな口コミ情報の拡散やインサイトの抽出を図るなど

注1. 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

注2. 「QR Translator」は株式会社PIJINの登録商標です。【商標登録番号】第5588169号

注3. 【日本国特許4918174号】【国際特許出願番号:PCT/JP2012/058854】

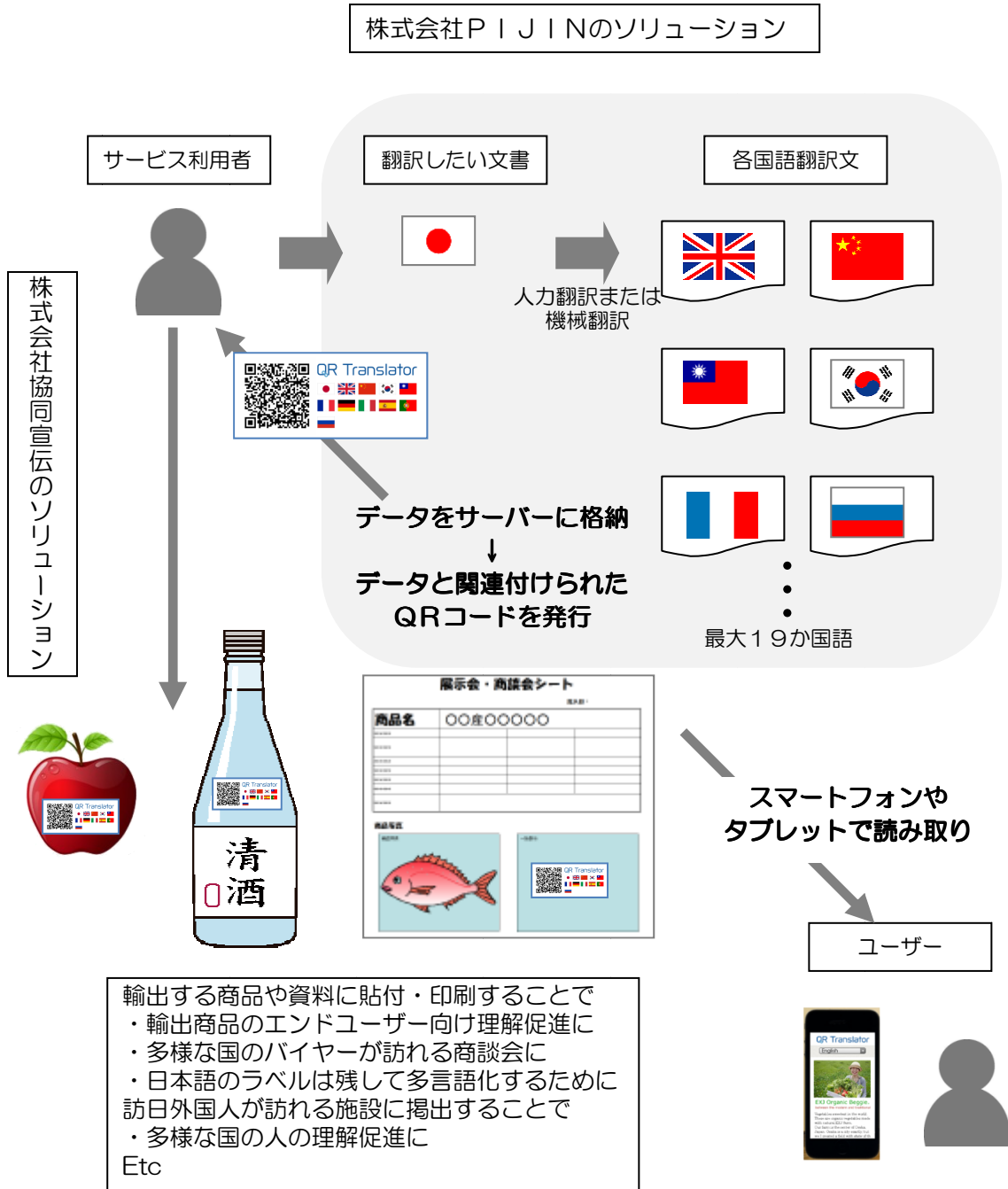
【リリースについてのお問い合わせ】

株式会社協同宣伝 経営戦略室 担当：田村 [tamura@kyosen.co.jp](mailto:tamura@kyosen.co.jp)

TEL：03-5212-7961 FAX：03-5212-6911

株式会社協同宣伝 〒102-8522 東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町

<利用イメージ>



＜日本酒における利用事例＞

2014年6月15日ニューヨークで開催された「国連を酔わす会」にて、パイロット版としてQRトランスレーターを掲載したタグを制作。輸出増大を狙い、酒・酒蔵の基本情報の他、日本酒ジャーナリスト松崎晴雄氏によるコメントも表示させ、ディストリビューター・小売店の商品理解促進を図った。

今後はボトルに直接QRトランスレーターラベルを添付するなどして、購入者や提供レストランの店員などにも広く日本酒の知識、文化、美味しさを伝えていく。



日本語



英語



簡体中国語

